

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表: 令和6年7月17日

事業所名 こぱんはうすさくら豊橋多米西教室

保護者等数(児童数) 18 回収数 16 割合 80%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15			1	・施設内が清潔で好感を持った。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1		3	・色々な分野の資格を持っている先生がいて信頼できる。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	1		5	・手すりは少ないと感じるが玄関は引戸でうち鍵もかかっているので安心できる。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14		1	1	・保護者の意見をしっかりと聞いてもらった。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15			1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	1	12		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16				・わかりやすい説明を受けた。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15			1	・先生によっては共通理解できているかわからない。 ・連絡帳や電話で気になる事を相談している。	・終礼時(できない時は翌朝礼時)に振り返りを行い情報の共有、共通認識を心掛けていますが、保護者様にご不安を感じさせぬよう周知徹底に努めて参ります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16				・困りごとを連絡帳に記入すると送迎時にフィードバックしてもらえて嬉しい。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		9	6	・それぞれの家庭の状況もあるので密にないほうが良い。	・今後、ご要望があれば検討して参ります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1		4	・不満に思う事はないが変更点はすぐに連絡もらえる。 ・何かあればすぐに対応してもらっている。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16				・わかりやすい説明をもらった。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1		2	・ブログやホームページがあり、更新を楽しみにしている。	
14 個人情報に十分注意しているか	16				・事前に知らせてもらい、十分な配慮を感じる。		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8		1	7	・契約時に説明を受けた。	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5			11	・利用日によって訓練に参加の有無がわかる。	・訓練は行っておりますが、利用日によって参加できていないお子様もおられます。今後、回数を重ね、改善点を探り、非常時に備えたいと思っております。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13	3			・通所がルーティンになり、何をしようかワクワクしている。 ・行けば楽しんでいるのだが「行かない」という事もある。 ・とても楽しみにしている様子は嬉しい。	
	18 事業所の支援に満足しているか	16				・変更点や希望にもすぐに対応してもらえ満足。 ・楽しく通えているので満足。	

214 8 12 54

74%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年7月17日

事業所名 こぱんはうすさくら豊橋多米西教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			
	2 職員の配置数は適切である	5	5		・日によっては少ないと感じる日もある。 ・利用児の状況によってはフォローに入れる体制があれば尚よい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	6		・個人ノートを作成し、お子様の気付きをメモ出来るようにしている。定期的に支援について話し合う機会を作っている。 ・業務の振り返りや改善していく時間をとれるよう、組織・個人単位で工夫が必要
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	4		・開所して1年未満の為今回が初めての実施となる。 ・結果をもとにより良い支援に繋げていきたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		・開所して1年未満の為今回が初めての実施となる。 ・ホームページ公開予定
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	・SVIによる定期的な巡回を通し、事業所や職員が相談し問題解決を図る機会を設けている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	・できるだけ外部での研修には積極的に参加するようにしている。 ・事業所で行う定期的な物に加え市が主催する研修の機会を活用し、職員のスキル向上に力を入れている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1		・お子様の姿から読み取ったり、保護者様のニーズを個別支援計画に反映させるようにしている。 ・アセスメントで得た情報を分析した上で、職員間でカンファレンスを行い計画案を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3	・アセスメントシートを活用している。	・スタッフ各々の裁量によって行っている為今後ツールを活用していく必要がある。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	3	・職員全員の意見が反映されるよう活動計画書で意見を出し合っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		・偏りや固定化しないよう新しいアイデアを出し合ったり、同じプログラムでも担当によってやり方を変えるなど工夫している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	5	・事前に話し合い方向性を打ち出している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	・個々の課題に応じてスモールステップで無理なく達成していけるような計画作成を心掛けている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	7	2	・朝礼にてその日の活動内容の確認をし共通認識で支援が行えるように心掛けている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	5	・終礼にてその日の児童の様子、支援課題、活動課題を検討している。就業時間と重なる為、よく朝礼時に行う事もある。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	6	・支援記録をつけ、支援課題や解決策について話し合いより良い支援が行えるよう努めている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	・日々の様子をお伝えしながら必要に応じて計画の見直し出来るようにしている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5		・ガイドラインに沿って偏りなく支援できるよう活動の考案、支援を行えるよう努めている。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		・児発管、管理者が参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1	・学校との情報交換、送迎の調整等を行い、お子様の状態変化の察知に努めている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	対象外	対象外		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	7	・系列の児童発達支援事業所から移行してきたお子様の情報は共有するよう努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3	前例なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・研修には積極的に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	8	・事業所内での交流のみになっている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4		・管理者、児発管が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	2	・送迎時やフィードバック支援経過記録、LINEを使って様子をお伝えしたり、ご家庭での様子を聞き、共通理解を図っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	7	・お困り事があった際はその都度お聞きしご希望があれば相談支援を行っている。	・今後、保護者向けの講習会・勉強会等も行っていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		・契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・お困り事はその都度お聞きし、ご希望があれば相談支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9		・今後希望、必要があれば検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		・ご意見をいただいた際は、管理者、児発管に報告し、迅速に対応できるよう心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		・毎月紙媒体のおたより、利用日に活動中の写真をLINEにて発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	8	2		・注意しているつもりだが、ご送信があるので注意したい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1	・言語での意思疎通が難しいお子様には視覚支援も併用して意思疎通を図っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		9		・今のところ予定はないが今後広い視野を持って検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	6		・マニュアルの作成、訓練は行っているが、保護者様には周知徹底が必要。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1		・定期的に行っているが、利用日によってまだ参加できていない利用者、職員もいる為回数を増やしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	・事業所内でも研修の機会を設け、虐待防止について共通認識を図っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	・お子様に危険が生じた場合、やむを得ず身体拘束を行った際は、迅速に状況説明等を保護者様に行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		・対象児童なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	7	・作成にとどまらず、対策や今後の支援について話し合い、再発しないよう努めている。	